

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス そらいろチルドレン		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025/2/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年2月26日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちの思いやペースを大切に、「やってみたい」「行ってみたい」をベースにしながら活動をしている	日々のこどもたちとの遊びや関わりの中で、事前に必要な物をそろえておいたり、当日、こどもたちと一緒に必要な物を近くのお店に買いに行ったりしている。また、こどもたちの願い全てをその日にかなえられる訳ではないので、こどもたちの気持ちのフォローもしながら、今日できる遊び・活動を提案し、来週の予定をこどもたちと一緒に立てている。	こどもたちの思いやペースを大事にしながら、こちらからも新しい遊びや活動を提案していき、こどもたちの遊びや活動の幅を広げていく
2	面談や送迎時以外にも、ご家族の方とゆっくり時間をとってこどもたちの様子や成長、育児、進路などについて話を聴いたり、助言をしている	学校行事やテスト期間など、学校関連でこどもの変化や様子、ご家族の思いを聴いたり、お家での過ごし方や進路・将来の方向性など、こどもたちの成長の過程におけるいろんな悩みやしんどさ、嬉しかったこと、良かったことなど、いろんな話をお聴きするようにしている。	自主通所しているこどもたちも多くいて、すべてのご家族の思いを聴けているわけではないため、面談以外にも定期的に話を聴く機会を作っていく
3	こどもたちやご家族の方が安心して楽しく利用し、心も身体もリフレッシュ・リラックスできる大切な居場所となっている	こどもたちやご家族との信頼関係を丁寧に築きながら、上記に書いた2点も大切に、こどもたちだけでなくご家族にとっても安心できる、話を聴いてもらえる、居心地の良い居場所になるように日々、活動している	同じ学年や同じ悩みを持っているご家族、進路について知りたいご家族など、話を聴いたり、交流できる機会を作っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関の連携が必要な時は連絡会を、それ以外の時は運動会や学習発表会の見学に行かせていただいているが、日常の学校での様子があまり把握できていない。	学校への送迎時にその日の体調等をお聞きしているが、お互いの日程調整が困難なため個別の詳しい情報支援ができていない。	学校行事以外にも学校の先生からこどもたちの話を聴く機会を作ったり、保護者の方から定期的に学校の様子をお聴きしていく。
2	通われている日々の様子を保護者の方に共有する時間が取りにくい。	自主通所の利用児も多く、保護者の方と直接会って話をする機会が少ない。	通信(おたより)を作り、こちらでのこどもたちの様子や活動をお伝えしていく。
3	父母の会や保護者の会など、保護者さん同士で話をする機会や放課後児童クラブ、児童館、地域の他のこどもたちと活動する機会が少ない。	保護者さん同士で話し合う場は以前、取り組んでいたが、コロナ以降でそういった場を定期的に作ることはできていなかった。また、児童館や地域のこどもたちとの活動も以前はできていたが、ここ数年は活動の場が減ってきていた。	職員体制も考慮して、以前に取り組んでいたように、土曜日に保護者の会の開催や児童館に遊びに行くなど保護者やこどもたちの交流の機会を作っていく。